

海外研修

Perth

Western Australia

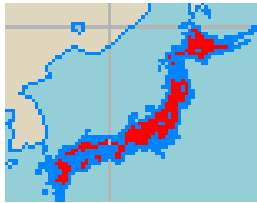
2009/2/17～2/21

平成21年2月26日
医療実務研究会



国土面積・人口 日本とオーストラリアの相違

2008年調査



日本

377,835km² (60位)
127,288,419人 (10位)

面積 20.34倍

人口 15.6%

日本

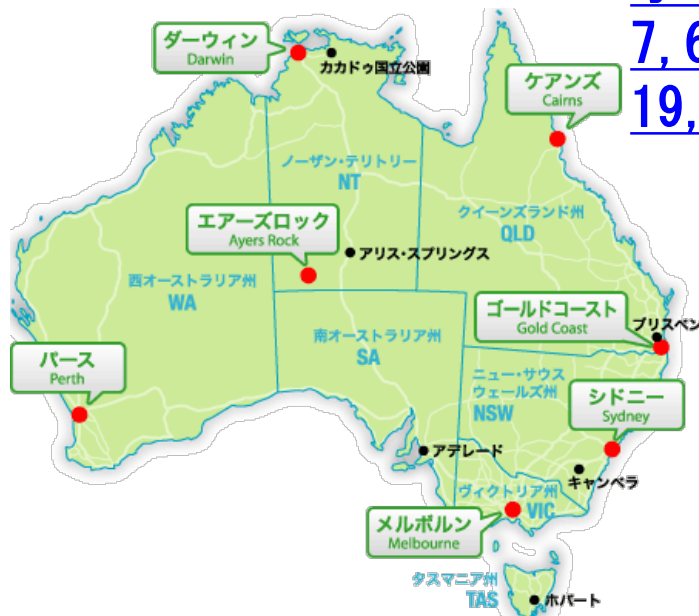
335人／1km²

オーストラリア

2.5人／1km²

オーストラリア

7,686,850km² (6位)
19,913,144人 (52位)



オーストラリアの平均寿命

女性83.0歳、男性78.1歳(2006年)

・・・日本・スイスに次ぐ

65歳以上270万人・・・総人口比13%

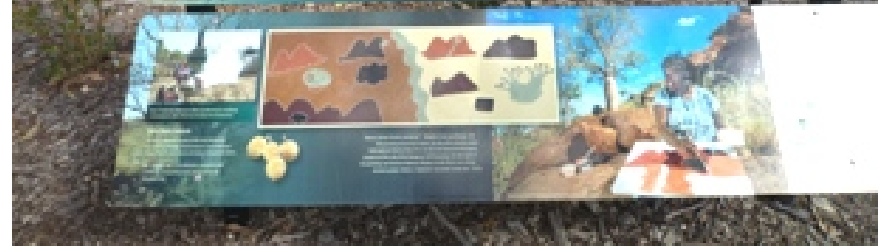
写真で見る 日本とオーストラリアの相違①



写真で見る 日本とオーストラリアの相違②



写真で見る 日本とオーストラリアの相違③



写真で見る 日本とオーストラリアの相違④



写真で見る 日本とオーストラリアの相違⑤



オーストラリアの医療保険①

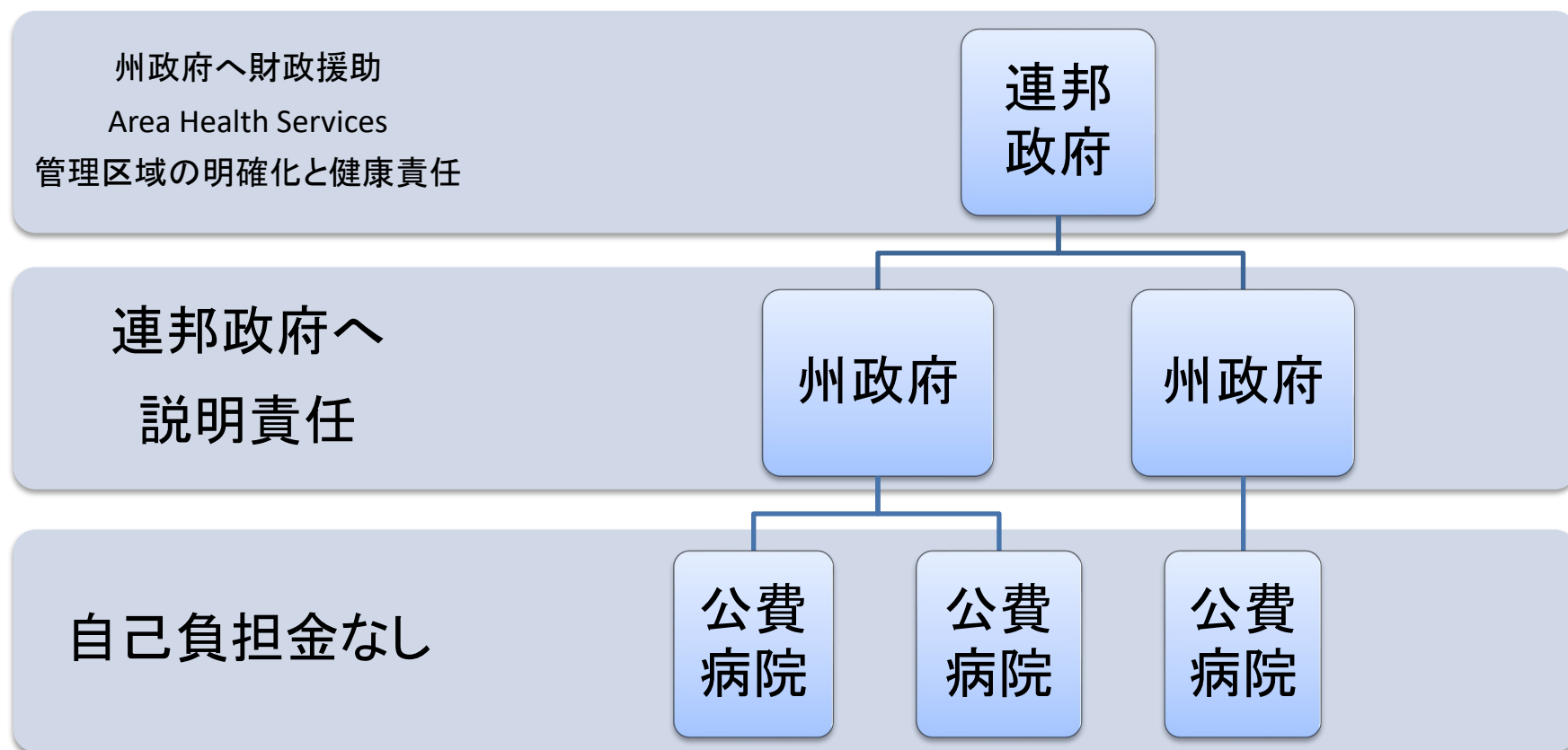
[Http://www.ipss.go.jp/syoushika/bunken/data/pdf/18715008.pdf](http://www.ipss.go.jp/syoushika/bunken/data/pdf/18715008.pdf)

高齢者ケア評価チームを中心としたオーストラリアの高齢者ケアの概観と医療との連携の現状

- Medicare (国民皆保険制度) が基本
1984年発足
- 全て税収入 =
課税対象所得 × 1.5% (メディケア税)
+ 他の一般税収
- 社会保険形式ではない

オーストラリアの医療保険②

オーストラリアの病院の60%～70%は公費病院



オーストラリアの医療保険③

- 1993年以降DRGによる平均的医療費用をもとに補助金算出



- 入院期間の短縮
- 急性期ケア病床数 4.1%→2.9% / 1000人
- 高齢者の病院利用増加



地域の急性期後ケアアクセス・プロジェクトの立ち上げをACAT(高齢者ケア評価チーム)と共同で



高齢者ケア改革(ACRT)

オーストラリアの高齢者ケア①

Aged Care Assessment Team (ACAT)

- 高齢者ケア改革・・・1985年より・・・地域ケア重視政策
- 高齢者個人とその家族のニーズを評価
- 情報・助言・援助を提供
- ケアマネージメント手法による地域高齢者パッケージと長期在宅高齢者ケアプログラム
- 急性期・回復期・慢性期の切れ目ない医療構築を目指す

オーストラリアの高齢者ケア②

Aged Care Assessment Team (ACAT)

- ACATは自宅生活希望者、施設入所希望者の身体的、医学的、心理学的、社会的ニーズを総合的に把握
- アセスメントし、情報・助言・援助を提供する医療専門職チーム
- メンバーは連邦政府により委託された医師、看護師、SW、PT、OTなどで構成

オーストラリアの高齢者ケア③

Aged Care Assessment Team (ACAT)

- ローケア施設
 - ・・・通称ホステル・・・ケアハウスに相当
 - 自宅での自立生活困難者
 - 看護・介護は不要な高齢者
 - 食事・洗濯・掃除などの家事サービス
- ハイケア施設
 - ・・・通称ナーシングホーム・・・特別養護老人ホーム
 - 24時間体制で看護・介護専門職がケアを提供

オーストラリアの高齢者ケア④

Aged Care Assessment Team (ACAT)

- 評価の過程

- ① 初期クライアント評価とニーズの明確化
- ② ケアプランの立案
- ③ ケアプランの一環としての効果的な照会
- ④ ケアプランの実施
- ⑤ ケアプランの再検討

SILVER CHAIN



SILVER CHAINの紹介

- ケアサービスの提供
 - おもな事業・・・地域社会ケア
 - 保健ケア
 - 施設ケア
- 1905年設立
 - 地域社会の健康と福利の責任を共有
- 西オーストラリア州とタスマニア州をカバー

SILVER CHAINの活動

- 地域・・・パース首都圏
20か所の首都圏外地区
12か所のへき地
- 職員数・・・2,535名＋ボランティア700名
- サービス実績・・・160万回以上
130万時間以上
3万9000名以上の人々とその家族
- コムケアの利用

SILVER CHAIN構想

- 親身なケア
地域ケア
施設ケア
- 価値感
平等
個人の個性
ベストなサービス
最高の成果

ケアの主な種類

- 地域社会ケア

在宅・地域(HACC)、高齢者、退役軍人、
在宅独立プログラム

- 保健ケア

550名の正看護師による地域・在宅看護
緩和ケア、在宅病院プログラム

- 施設ケア

ユニット、総合地域ケア

カスタマーセンター

広大な土地



医療・サービス

サービスの質の維持



SILVER CHAINの人材
有効なサービスの提供



モバイル・サービスのプロセス

- ①Refer・・・紹介
- ②Stream・・・選別
- ③Early intervention program・・・初期介入
- ④Service・・・最適なケア提供 →→→見直し
在宅独立、個人確立
- ⑤各種サービス
ケアリンク警報装置、診療、緩和ケア、
在宅援助、認知症、高度・複雑なケア

ケアリンク警報装置

発信器を常に携帯



異常を察知



警報が鳴る



30～40秒でセンターへ
5～10分で救急車



カスタマー・オペレーションセンター

- コーディネートの中央化
事務・総務・財務・IT・
テクノロジー
- サービスの提供の仕方
再査定・フィードバック



コムケアテクノロジー
携帯を利用



カスタマーセンター受付と休憩室



システム化で得られる利益

- 利用者の立場
 - ・・・QOLの向上、プライバシー向上、
- 職員の立場
 - ・・・モラルの向上、安全性の確保、情報共有
- 組織の立場
 - ・・・コストの削減、プロセスの簡素化、
通勤時間の削減

Royal Perth Hospital



Royal Perth Hospital

- 西オーストラリア州第一の教育研究機関
- 救急病院

<見学施設>

救急部、感染・熱傷センター

外傷部

薬剤部

集中治療室

救急部



- 受付
トリアージ看護師配置
↓
メインエリア
オブザベーション
ラビットアセスメント

救急部の設備

①メインエリア・・・16床

安定した症状、モニタリング

②オブザベーション・・・6～18床

24時間以内に治る見込み

③ラビットアセスメント・・・10床

即対応、外傷のアセスメント

他、救急部専用CT、小規模手術室あり

熱傷センターと外傷部



- 熱傷センター(15床)
職場での事故、爆発、
焚き火での事故
- 外傷部(重症10床)
広い部屋、
常に2対1看護、
家族の為の部屋、
心理面の専門サポート



外傷部の設備



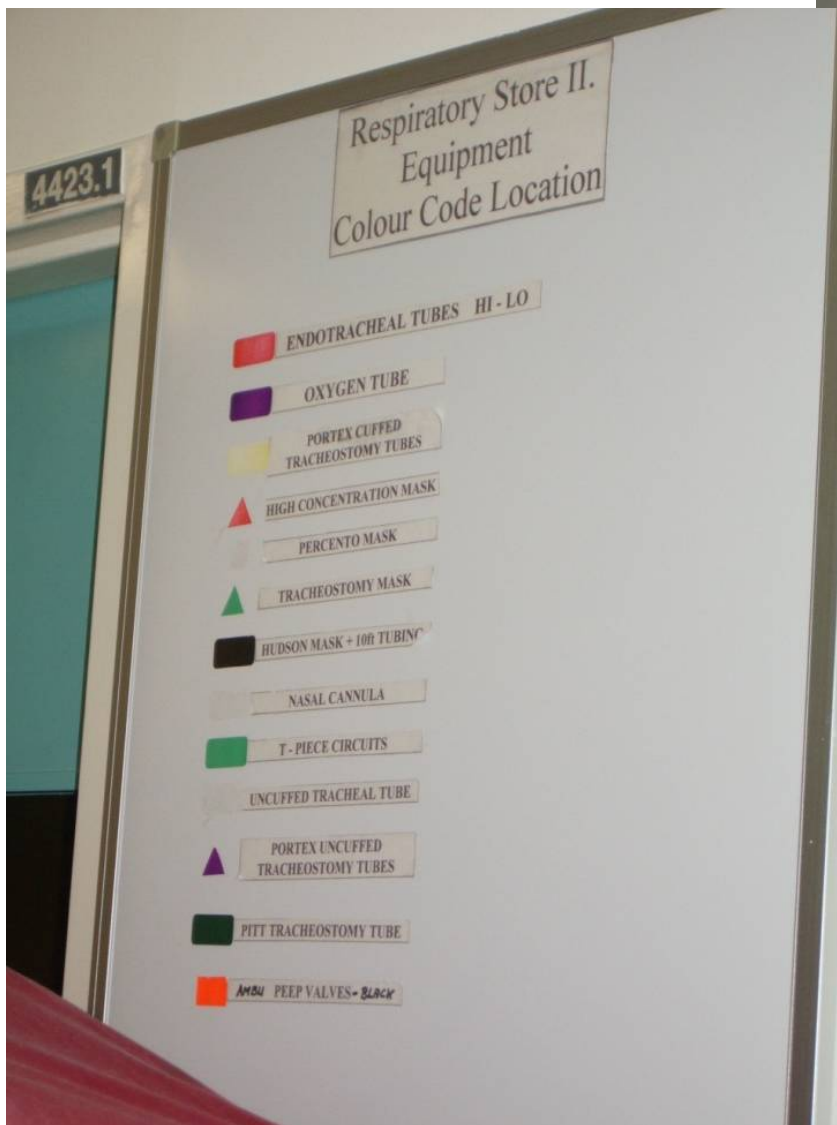
患者データはシステム化



- 通路にあるパソコン
患者データの閲覧
入力作業など



- 外傷部の見取り図



薬剤部



- 職員は70名以上
管理薬剤師
アナリスト(有資格者)
アシスタント
事務員



入院中の患者への投薬
退院時処方など

薬剤倉庫の内部



- 5,000種以上の薬剤を保管

- 無菌室・・・3室

抗がん剤

リウマチ用剤

40種類以上

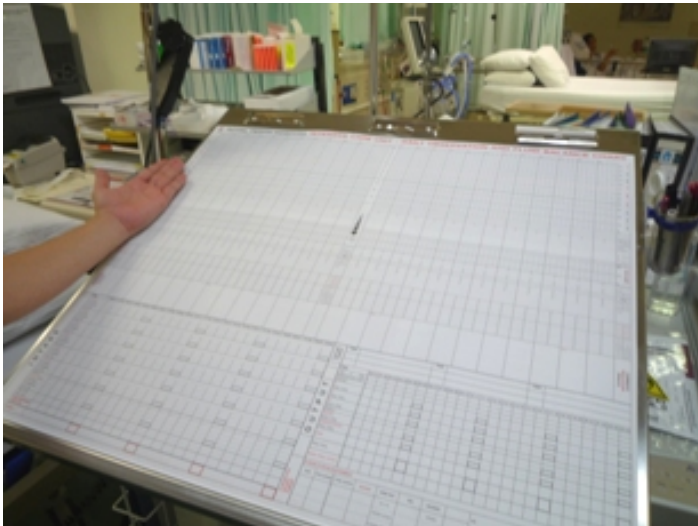




集中治療室

- 一般（内科）と外科に分かれる
- 空調管理
 - 陰圧、陽圧での管理で感染対策
- 隔離個室・・・RSウイルス感染、結核など
熱傷（呼吸器が必要な重症者）
- アイランド型ステーション
- 専用のフローチャート

集中治療室



- 手術室(16室)
年間15,000症例
- 麻酔医44名
他研修医26名
- ICU 23床
- 重症者用 9床
- 屋上にヘリポート
- 看護師140名体制

集中治療室の記録



SWAN CARE Vently Park



Vently Park

- 生活 力強いコミュニティ内で多くの報酬をもたらす忙しくて活発なままに
いること
- 安全性と保安
- 満足
- 社会的な活動

施設 ジャックセンター①

- ハイケア(=医療必要度の高い人)
 - ・・・ナーシングホーム
- 要介護状態の高齢者に対し、24時間体制で看護・介護の専門職員がケアを提供する
- 築35年・・・施設名は以前の入居者から



施設 ジャックセンター②

- 中庭は、家族との集い、レクリエーション、職員の休憩所として使用



- 2階建てプラス1階
 - ・・・1階49人 2階53人 1階44人 計146人
- 午後からNSが減るが、ワンフロア1階 平均7名のNSとユニットマネジャー(監督者)1名 ワンフロア11名 8:1

施設 ジャックセンター③

- 必ず紹介状を持って入所
- 12ヶ月以内の評価に対して入居
- 一旦入居すると、再評価はあまりしない
- 末期の人が多い
- 看取りをしている
- 入居期間は、長い人で最高で20年の人もいるが、数ヶ月の入居者も

施設 ジャックセンター④

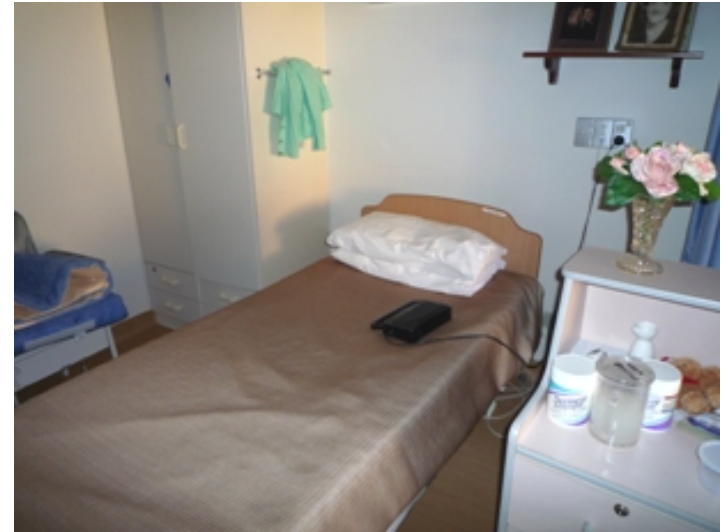
- 住み慣れた同じ場所で高齢を迎える
- 介護依存度が一番重いのが入居者分類基準の1にあたる
- ナーシングホームでは介護依存度レベル1から4ぐらいまでの入居者がおり、ホステルではレベル5から8ぐらいまでの入居者が暮らしている



施設 ジャックセンター⑤

個室と二人部屋

- 各部屋の入口には、入居者の写真を貼っている
- 表情が変わるので写真は更新
- 部屋には、ロッカー、冷蔵庫を配置
- 電気ベッドを転倒予防のため徐々に入れ替え



施設 ジャックセンター⑥

トイレと浴室



施設 ジャックセンター⑦

- ナースコールを押すと部屋番号が廊下の掲示等に表示される
- 掲示板に毎日レクリエーションの掲示



施設 ジャックセンター⑧

レモン大麦ジュース



- イチゴ味の高カロリー
- 栄養士、STが濃度を決める

施設 ジャックセンター⑨

食堂

- 朝食は、各自部屋
- 昼・夜は全員食堂で
- お気に入りの場所が
決まっている。



施設 ジャックセンター⑩

入居等に関する費用

- 各個人の資産で金額が変わる
- 年金の85%
- メディケアは税金一括方式で保険料を国民から徴収
- 所得の1.5%全国一律
- 年収約300万以上の所得者が民間医療保険に加入していない場合にはさらに1%の追加保険料金を徴収

施設 ジャックセンター⑪

診療

- 入居時はかかりつけDrに診て貰う
- 各部屋に、Drが往診に来る
- 必要時以外は6週間ごとに健診を実施
- Drは足りないのが現状
- 外国のDr資格はオーストラリアでは使えない

施設 ギンギア①

- 新しいコンセプトで建築
- 社交的な場を持てるように
- ひきこもらないように



- いたるところに部屋がある。
- オーストラリアでは新しい取り組み



施設 ギンギア②

- 3月16日より、入居予定の新しい施設
- 高齢者施設を沢山手がけている人にデザインを依頼
- 紫外線が強いのでブルーの窓を設置



施設 ギンギア③

- カフェテリア
職員・入居者等使用可
- セミナールーム
 - 中庭が見える
 - 映画鑑賞も出来る
 - 仕切りのドアを開ければ
広いルームに



施設 ギンギア④

- 廊下に設置された職員使用のPC棚
- スタッフが入力



施設 ギンギア⑤

クックチル

- 大調理室から、食事を作
って持ってくる
- 冷蔵庫にいれておいて、
皿に分けて3時間前に温
める
- 古い施設で試してみて、
良かったので新しい施設
でも運用



施設 ギンギア⑥

職員への配慮

安全性への取り組み

- 職員には「重いものを持ち上げてはいけない」という規則
- 椅子の後ろに輪がついていて、入居者に合わせてPTが判断し使用



施設 ギンギア⑦

多様化ケアの取り組み1

- メディケーションプロフィール(薬剤師)
- 6Wごとの診察時にDrが指示を出す
- 1Wごとに調合し、入居者に渡す
- なるべく薬を飲まないようにする努力
- 負担金は人によって金額が違うので、請求書は家族に郵送

施設 ギンギア⑧

多様化ケアの取り組み2

- 認知症、教育機関にも力を入れている
- 内・外部への研修
- アルツハイマー協会⇒専門からのトレーニング
- 老人心理学の評価もある
- 専門の施設に行くこともある

Fremantle Hospital



Fremantle Hospital

- 重要な第3次病院
- 24時間の緊急部門による450ベッド
- 主な短期ケア教育研究病院・核医学学部
- 潜水・高圧医療が特徴、精神医療も
- 胸郭部外科

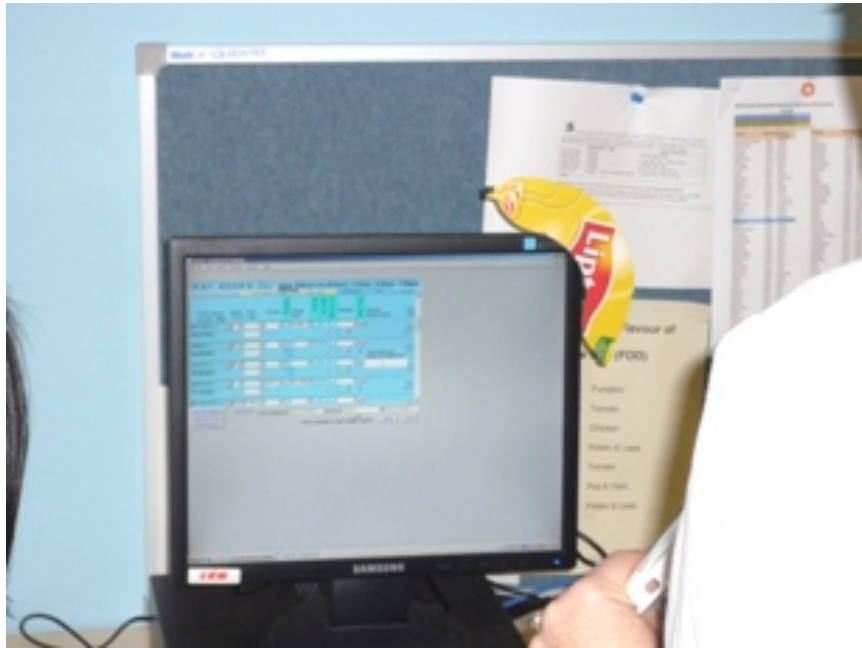


栄養部①

- 栄養士フルタイム9名事務1名
- 救急部にも栄養士配置
 - ・・・西オーストラリアで唯一
- 小児科、一般、特別、手術後、ICU、心臓、リハビリ、腎臓、メンタルをカバー
- チームで栄養の評価
- 栄養、啓蒙、広報、治療



栄養部②



- オーダーパソコン
- 各病棟にも設置
- 病棟からでも入力
- ケータリング部で見て食事を作る
- 指示だけはDrでなく栄養士

診療記録部①



特別な管理



パスカード必要



職員誰でも入室不可

診療記録部②



- 毎日10人勤務
- 定員は12名で2名不足
- 午後から2名帰宅
- 夜勤2名勤務
- 週末は1名

診療記録部③



- 患者1コード
- 2年間ここで保存
- →倉庫に2年間
- →外部に保存
- 基本は20年
- アボリジニーの患者カルテは廃棄しない

診療記録部④



- 病棟から戻ったカルテはバーコード管理
- MEDISプログラム使用
- コーディング8名

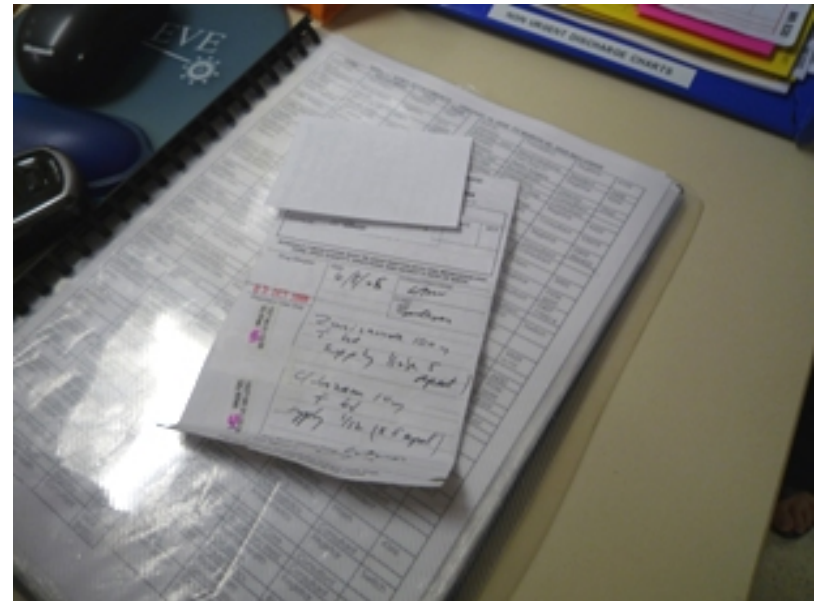
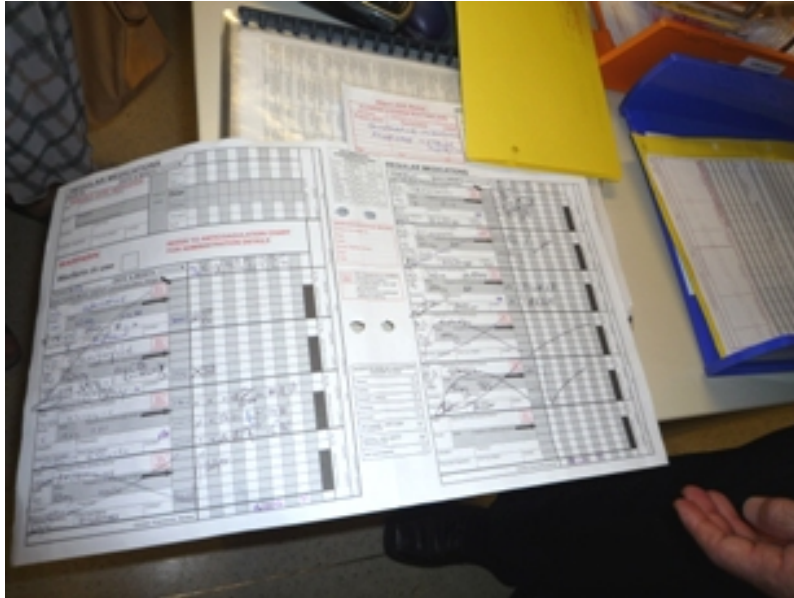
薬剤部①



- 外来処方箋1日→数百枚
- 薬材料1年間
→ AU \$ 2,500万
- 種類→2,000種類以上
- 薬剤師51名
- 常勤12名～13名



薬剤部②・・・処方箋



病院建設中・・・

今後の展開

ロイヤルパースホスピタルと共に、建て直し



救急の大半を新規病院へ
現病院は3次病院から2次病院へ
特徴のある潜水や精神が主へ

最後に・・・ アボリジニとは？

- オーストラリアの先住民族はアボリジニと呼ばれている。
- 語源はラテン語で「はじめから」の意味を持つ「アブ」と「オリジン」が合わさってできている。
- 言葉の意味通り、アボリジニは4～5万年前からオーストラリアの地に暮らしてきたとされている。

アボリジニの特徴

1. 文字文化を持たない。
2. 狩猟採取民族で、農耕などを行わない。
3. 伝統的にはアルコールは存在しない。
4. スキンネームが存在し、そのスキンネームによって結婚相手などが決められている。
5. 自然を崇拝し、各個人が、また、各部族が自然界に存在する特定のものを自分のトーテムとして、祖先として崇めている

現在のアボリジニ



一口にアボリジニといっても、広大なオーストラリア大陸に散在していた部族であるため、地域によってまったく違った言語、生活習慣、食文化、芸術などが存在する。当初は700以上の部族に分かれていた。言語も昔は250を超える言葉が存在していたが、現在では大きく分けて26～28種類の言語が存在する。